

JAとりで通信

第341号

2019年2月26日



発行 JAとりで総合医療センター 〒302-0022 茨城県取手市本郷 2-1-1 E-mail: toride@medical.email.ne.jp 発行人 新谷 周三
TEL 0297(74)5551 (代) URL http://www.toride-medical.or.jp/

3月で定年を迎える放射線部の海老根技師部長にお話を伺いました。

「昭和52年（1977年）に高校を卒業し、当時の取手協同病院（現在のJAとりで総合医療センター）に専門学生として就職しました。その頃は検査技師や准看護師を目指す人たちが働きながら学校に通っていたのを覚えています。昭和55年（1980年）に放射線

技師の免許を取得し、平成16年（2004年）まで当院に勤務しました。その後、西南医療センター病院に転勤となり5年間勤務しましたが、再び当院に戻り勤務42年になります。

昭和55年頃の病院は西棟だけで、診療科は内科、外科、整形外科しかなく（ベッド数は約120床）放射線装置も一般撮影用が2台、透視用（TV）用が2台だけ

けでした。昭和58年（1983年）に総合病院となつて診療科が増えていき、平成の初め頃にかけて脳神経外科や循環器内科の先生が赴任されるようになって放射線装置も増えていきました。

最新の心臓カテーテル撮影装置に更新される時には装置の選定や設置に関わり、器材用の棚の準備まで全てを同僚の技師と夜遅く

まで行ったのを覚えています。夜間に緊急の脳神経外科の血管撮影で呼ばれることも度々ありました。忙しかったですが辛いとはあまり思わなかったです。やりがいを感じていました。

2000年の初め頃には元中澤技師部長が提案され、県内の厚生連病院の中で当院が最初にフィルムレスのシステムを導入しました。

後継者の皆さんに伝えたいことをお願いします。

「協調性を大事にしたいです。時には自分の気持ちを横に置いておき、一歩下がって全体を観ながら判断し行動して欲しいと思います。」

一歩下がって全体を観ながら
勤続42年で定年をむかえて
放射線技師部長 海老根 吉信



海老根技師部長は26歳の時に職場結婚されました。「今まで仕事を元気に続けてこられたのは内助の功のおかげです」の言葉に、奥様へのあたたかな感謝の気持ちが見えられました。

昭和54年10月頃の当院。西棟（4階建て）と感染症病棟、サービス棟（食堂、ボイラールーム等）がありました。



今年の当院の開院日と休診について

4月29日(月)・30日(火)は
通常通り診療します

ゴールデン
ウィーク中

4月27日(土)		休診
4月28日(日)		休診
4月29日(月)	昭和の日	診療
4月30日(火)	休日	診療
5月1日(水)	休日(祝日扱い)	休診
5月2日(木)	休日	休診
5月3日(金)	憲法記念日	休診
5月4日(土)	みどりの日	休診
5月5日(日)	こどもの日	休診
5月6日(月)	休日	休診

※救急外来は全日（終日）診療しています。

ゴールデンウィーク
中の開院日

4月27日(土)から5月6日(月)までのゴールデンウィークの期間については、表の通り4月

4月以降の
第5土曜日は休診

2019年度から第5土曜日を休診とさせていただきます。今年度は、6月29日(土)、8月31日(土)、11月30日(土)、来年2月29日(土)が休診となります。ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願い致します。

29日(月)と4月30日(火)は通常通り外来診療致しますが、他の日は休診とさせていただきます。

なお、救急外来は、通常の夜間、休日と同様にゴールデンウィーク中も運営致します。



発表者に質問する参加者

各発表に対する質問も多く出され、発表終了後に板倉看護部長は「看護の日頃の課題を見つめ直し、来年もさらに深めた研究発表が出来るように頑張ってください」と挨拶しました。

皆さんが興味を示すレクリエーションの場で継続的な働きかけを行うことにより、コミュニケーションの充実や情緒の安定が図れ、機能回復やQOLの向上に繋がったとみられる症例が報告されました。

第38回
院内看護研究発表会を開催
専門性を発揮した
看護を目指して



続発性骨粗鬆症

整形外科部長
鈴木 康司

続発性骨粗鬆症とは、
遺伝的素因、閉経および
加齢以外に骨質を劣化さ
せる原因が認められる場
合、続発性骨粗鬆症とい
います。

骨粗鬆症になる原因と
しては、
①甲状腺機能亢進症、副
甲状腺機能亢進症、性腺
機能不全などの内分泌の
ご病気のある方
②胃切除後の方
③他のご病気の関係で「
ステロイド」というお薬
を飲まれている方は骨が
弱くなります。
④アルコールを過剰摂取
される方は1・4・5・1・
7倍に骨折リスクが上昇
します。お酒はほどほど
が良いのでしょうか。
⑤関節リウマチ、慢性肝
臓疾患、甲状腺疾患、腎
臓疾患、慢性閉塞性肺疾
患のご病気のあるかたで
は骨が弱くなります。特
にまだ一般の方にも知ら

本日のポイント

糖尿病、肝臓疾患、甲状腺疾患、腎臓疾患、慢性閉塞性肺疾患のある方は骨が弱くなります。
病気を悪化させないことが“骨”の健康にも大切です。



れていないのは「糖尿病」
の方は骨が弱くなるという
点です。
第1回のときにお話しし
たように、骨強度＝骨密度
(7割)(低骨量)＋骨質(骨
組織の微細構造の劣化)
(3割)ですが、今回お話
している続発性骨粗鬆症
の原因の中には、骨密度が
低下するのではなく骨質が
悪くなるタイプが多いで
す。



2020
年度
看護師募集
説明会



洗浄後の医療器具をセットしている様子



乾燥した器具を取り出している様子



スタッフの皆さん(前列左が西塚さん)

職場紹介

中央材料室

中央材料室の職場をご紹
介します。治療や検査を行
う所ではありませんので、
一般の方はご存知ないかも
知れませんが、治療や検査で
使用された鍋子(ピンセツ
ト)や剪刀(はさみ)、手
術用の器具など、ディス
ポ製品以外の医療器具は
全て中央材料室に集めら
れ、洗浄、滅菌された後
に再びセットされて病棟

や手術室などへ払い出され
ます。ですから病院で安全・
安心な診療を行うためには
欠かせない所です。
現在「日本ステリ株式会社」
のスタッフ(7名)の
皆さんが業務に就いてお
り、勤務は二交代制(8時
から17時までと、11時から
20時まで)となっています。
今回、責任者の西塚有一さ
んにお話を伺いました。

中央材料室の中は不潔エ
リア、作業エリア、清潔エ
リアに区切られています。
作業エリアには超音波洗浄
機や高圧蒸気滅菌装置など
が並び、次々に洗浄、滅菌
が行われ、スタッフの方は
装置の運転時間を見ながら
器具をセットしてしまし
た。
午前中、各病棟で使用した
医療器具等を中央材料室の
方が回収し、午後はまた病
棟に届けています。ランド
リールームでは職員のユニ
ホームやタオルなどの洗
濯、乾燥も行い、スタッフ
の皆さんは一日フル回転で
作業の正確性を高めるた
め、「滅菌スイッチ入れま
す」と指差し呼称確認を行
い、他のスタッフも確認す
るダブルチェックも実施。
滅菌終了後のチェックはも
ちろんのこと、滅菌中の温

度等の波形を簡便に確認
するためのチェックシー
トも工夫されています。
西塚さんは「安全・安
心を提供するため、汚れ
やセット間違いなどに注
意しています。看護師さ
んとのコミュニケーション
を大切に、スタッフ
の皆さんの要望に正確に
対応できるようにしてい
ます」と話されています。
また、当院に配属希望
の中央材料室のスタッフ
を募集していますので、
興味のある方はご連絡下
さいとのことでした。
患者さんの治療や検査
を安全・安心に行うため
、今日も中央材料室の皆さ
んが支えてくれています。

開催日時
3月16日(土) 8月17日(土)
4月20日(土) 9月21日(土)
5月18日(土) 10月19日(土)
6月15日(土) 11月16日(土)
7月20日(土) 2020年2月15日(土)
10時～12時(受付9時30分～)
場所 JAとりで総合医療センターA会議室
連絡先 看護部長 板倉 紀子
TEL 0297-74-5551

第19回 全国厚生連栄養士協議会 全国统一献立 秋田県の郷土料理



きりたんぼ
と
サラダ寒天

秋田の郷土料
理の代表とも
言える「きり
たんぼ」の発
祥は秋田県の
県北地方で
す。きこり達
が山作業の際
に残り飯を長
い棒に巻き付
けて、味噌を
つけて焼いて
食べたのが始
まりだという
説など起源や
語源には諸説
があります。

サラダ寒天は秋田の名
物です。秋田の県南地域
は寒天が大好きで、なん
でも寒天で固めてしま
います。懐かしいふるさ
との味です。

人の動き

採用(1月)
三浦 貴大 産婦人科
山口 香織 看護部
加藤 百恵 看護部
齊藤 桃子 看護部
稲川 昭一 看護部
芦川 さおり 医事課